

一 般 質 問 要 綱

令和元年第5回6月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	20	佐 原 正 秀	1 成年後見の現状と課題について	認知症や知的・精神障害などで判断能力が不十分な人に代わり弁護士や司法書士、親族らが預貯金の管理や福祉サービスの手続きなどを支援する制度であります。2000年に導入され、利用者は2018年末時点で約48万8,000人おり、家庭裁判所が申し立てを受け後見人を選任しており、弁護士ら専門職の場合には利用者が月数万円の報酬を支払うのが一般的となっている。身寄りのない単身高齢者の増加に伴い市区町村の首長からの申し立ては年々増加しており、2018年には利用者が決まった件数は全体の43%と言われております。 そこで本市の現状と課題についてお尋ねいたします。 (1) 本市の現状について (2) 市長が利用を申し立てた経過について (3) 制度に関する関係者の知識不足等に対する対応について (4) 意思をくみ取った丁寧な運用について (5) 預貯金の管理や福祉サービスの実態について (6) 本市の今後の課題について
			2 農業政策と担い手育成の対応について	新たな時代が始まりました。平成の時代に国内農業を取り巻く状況は一変いたしました。押し寄せる貿易自由化の波、農業者の減少や高齢化、過疎化による農村の衰退などの一方で認定農業者制度が創設され、農業経営の法人化や6次産業なども進展しております。 こうした国内外での情勢変化の中で、農業政策や経営構造の形も変化しており、農水省は1992年新しい食料・農業・農村政策の方向について、いわゆる新政策を打ち出しました。 国際化のうねりの中で、国内農業が目指す道筋を提示し、中でも力点を置いたのが、効率的かつ安定的な農業経営の育成と、新政策を契機に優れた担い手の確保に向けた方針が明確に示されております。 そこで本市の農業政策と担い手育成に向けた取り組みについて、どのような方向性を検討されておりますかお尋ねいたします。 (1) 今後の担い手育成の取り組みについて (2) 6次産業化の取り組み推進について (3) 農地中間管理事業と担い手との連携につ

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				いて (4) 農業者の減少と高齢化対策はどう進めるかについて (5) 経営の大規模化に向けた法人化組織づくりをどう進めるかについて (6) 中山間地域などの条件不利地域への対応について (7) 農福連携に対する支援策について
			3 日中線記念自転車歩行者道しだれ桜並木の現状について	今年のしだれ桜並木は、天候に恵まれ桜の開花時期が長く、来場者数は多かったものと思われます。私も開花の時期に何度か足を運びました。その際、四国からおいでになられた老夫婦にお会いし、色々お話をする機会がありました。話によりますと、これが2回目とのことでありましたから単純に2回かと思って、話をしておりましたら、今年の桜開花時期に2回目との話でありました。それは開花時期がよくわからず早目に一度おいでになり、桜が咲かず残念な思いをされたので、再度訪れたとのことであり、桜並木の素晴らしさに、大変感動し、満足をされて帰られました。このように心に残る出来事がありました。 そこで、しだれ桜並木に対する現状と対策についてお尋ねいたします。 (1) しだれ桜並木の観光入込客数及び経済効果について (2) 来年のライトアップの実施について (3) 駐車場の現状について (4) 今後のしだれ桜並木の維持管理計画について (5) 今後の観光PR体制について (6) 今後の課題について
2	14	齋 藤 仁 一	1 地すべり地域における対策と対応について	(1) 市内の地すべり防止指定区域の箇所数及び対策工法について伺いたい。 (2) 5月に発災した山都町藤沢地区の土砂崩落の原因と対策について伺いたい。 (3) 地すべり地域における対策工事完了後の維持管理と監視体制及び市との連携体制はどうなっているのか伺いたい。
			2 2018 喜多方市長選挙並びに 2019 喜多方市議会議員選挙について	(1) 市長選挙並びに市議会議員選挙の投票率の低下についてどのように分析し、今後どのような対策を講じるのか伺いたい。 (2) 期日前投票における本庁と各総合支所の

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				終了時間の違いは何か、また、今後見直しを 考えているのか伺いたい。 (3) 市長選挙と市議会議員選挙投票日の終了 時刻の違いは何か、また、今後見直しを考 えているのか伺いたい。 (4) 市議会議員選挙投開票時刻の見直しにつ いて伺いたい。
			3 小中学校適正規 模適正配置と高校 再編について	(1) 小中学校適正規模適正配置の検討は、現在 までにどの機関でどのような内容で協議さ れたのか、またどの段階に至ったのか伺いた い。 (2) 5月10日に実施された総合教育会議で検 討した「小中学校適正規模適正配置基本方針 (案)」について伺いたい。 (3) 喜多方高校と喜多方東高校、耶麻農業高校 と会津農林高校との統合について、市はど のような検討をしたのか。また、どのような対 応をする考えなのか伺いたい。 (4) 少人数教育についての市の見解を伺いた い。
3	7	渡 部 一 樹	1 教育環境の充実 について	(1) 高等学校改革懇談会のこれまでの内容と 今後の予定はどのようなになっているのか伺 いたい。 (2) 喜多方高校、喜多方東高校の両校が統合さ れた場合、喜多方東高校の利活用が重要とな る。市長の基本的な考え方を伺いたい。 (3) 小中学校トイレの洋式化の現状について 伺いたい。また、さらなる洋式化の必要性が あると考えているが見解を伺いたい。
			2 観光行政につい て	(1) 障がい者の方にも観光しやすいまちづく りに関する基本的な考え方について伺いた い。 (2) バリアフリー化が済んでいる観光施設と その整備内容について伺いたい。 (3) 介助ボランティアの育成などの「ソフト 面」の充実も課題と考えるが見解を伺いた い。
4	4	十二村秀孝	1 農業振興につい て	喜多方市農林業ビジョンの基本目標に「地域 の特性を生かした力強い農林業の推進」とあり ます。そこで以下の2点について伺います。 (1) 担い手の育成・確保対策について ア 現在までの新規就農者数・認定農業者数・ 集落営農組織数（経理一元化）を伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				イ 担い手への農地集積率（過去3年）について伺います。 ウ 多様な担い手育成確保に向けた今後の進め方について伺います。 エ 多面的機能支払交付金活動組織数は現在どれくらいあるのか伺います。 (2) 戦略的作物の産地化対策について ア 戦略的作物に位置付けている品目は何か、また、その品目の施設化率を伺います。 イ 今年度から産地パワーアップ事業に取り組んでいますが、今後、継続して取り組んでいく考えがあるのか伺います。
5	19	後 藤 誠 司	1 骨髄ドナーに対する補助制度について	(1) 本市における補助制度の導入について伺います。 (2) 県内他市の導入状況について伺います。 (3) 本市の導入に向けた取り組み状況について伺います。
			2 高郷町地すべり対策について	先の全員協議会で、高郷町地すべり対策の進捗状況について説明がありましたが、以下の点について伺います。 (1) 調査ボーリングが地下水位観測等 17 箇所で行われていますが、その結果について伺います。 (2) 復旧工事について ア 農地については、工期が令和2年1月末日ですが、来年の作付けについて支障がないかどうか伺います。また、1.8haの面積が確保できるのかも伺います。 イ 県道の復旧においては、迂回路を經由して不便をきたしており、速やかな着工を願っておりますが、予定について伺います。 (3) 1世帯2名の方に「避難勧告」が発令されて1年になりますが、今後の見通しについて伺います。
6	6	小 島 雄 一	1 人口減少問題について	平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」の施行を受け、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が決定され、それを受けて本市においても「長期人口ビジョン」と「喜多方市総合戦略」が策定されました。 急激な人口減少が及ぼす様々な影響が顕在化する中で、その対策が効果を上げているのか心配されるところです。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				そこで以下の質問をします。 (1) 本市における近年の人口の動向を伺う。 (2) 人口構成、自然動態、社会動態、出生率、高齢化率を伺う。 (3) 具体的施策の重要業績評価指標 (KPI) の達成度を伺う。 (4) 総合戦略の計画期間が本年までの5年間となっているが、次期計画をどうするのか伺う。また、基本目標や内容をどのように変更するのか伺う。
			2 教育問題について	(1) 少子化による子供達の教育環境の変化は大変憂慮されるところである。また、そのために現在本市において進行している小・中学校の適正規模・適正配置の計画は本市の将来の在り方を大きく変えてしまう可能性がある重要事項である。 ア 本年度におけるスケジュールについて地域に対する説明を含め伺う。 イ 適正配置審議会の開催状況、その内容を伺う。 ウ 適正配置の原案を伺う。 (2) 世界保健機関 (WHO) は、国際疾病分類を改訂し、ゲーム依存症を正式に精神疾患として位置付けた。本市の状況について伺う。 ア ゲーム依存の状態と思われる児童生徒の数を伺う。 イ 本市における対策を伺う。 ウ 治療や相談の対策を伺う。
7	5	上野利一郎	1 防災対策 (水害) について	世界的な地球温暖化の傾向が顕著になってきた昨今、国内でも渇水と集中豪雨の両極端な現象が毎年相次いでいる。本市でも昨年は渇水対策に迫われたが、5、6年前の7月には集中豪雨とそれに伴う土石流等により、多大な被害が発生した。 平成26年7月9日の豪雨災害では、154ミリの県下最大雨量により住家等の床下浸水や国・県道、市道、農道、林道、そして農業用水路及び農地等における路肩や法面等の崩落、冠水等の被害が発生し、さらには一部農作物の被害もあり、本市における全体被害箇所は326カ所となり、その被害額は1億3,580万9,000円となった。 現在の災害時の公的対策環境は万全なのか、

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				また、市民との協働で行う災害対策とは何か、国の方針に準拠した本市の災害行政の方向性など、以下の4点について伺います。 (1) 河川の水位監視体制について伺います。 ア 本市で定点観測している河川数と観測点について伺います。 イ 河川の危険水位の基準値と市民への避難基準について伺います。 (2) 河川増水における対策について伺います。 ア 水害危険区域での排水ポンプの配備とその能力について伺います。 イ 消防ポンプで排水などを実施するにあたって、どの程度の排水能力があるのか伺います。 ウ 消防ポンプの更新年数と各支団の配備計画について伺います。 (3) 自主防災組織との連携と情報の共有について伺います。 ア 現在の水害危険区域の近隣に、災害を軽減するための避難支援等を行う自主防災組織が存在することが望ましいが、現状について伺います。 イ 災害対策本部では、時々刻々変化する災害情報を、自主防災組織とどのように共有するのか伺います。 (4) 平成30年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に準拠した、本市の河川、砂防分野における緊急対策の考え方について伺います。 ア ハード・ソフト面で実施が予定される対策事業について伺います。 イ これらを盛り込んだ現行の防災計画の更新の予定について伺います。
			2 第4回喜多方市議会議員一般選挙について	平成31年4月の第4回喜多方市議会議員一般選挙は全体で63.61%という投票率であった。 今回の選挙の実施内容等について、以下の4点について伺います。 (1) 今回の期日前投票数は全体の投票数に対して、その割合はどの程度であったか伺います。 (2) 4月21日の投票日の18時から20時までの対象投票所の投票数は全体の投票数に対

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				して、その割合はどの程度であったか伺います。 (3) 選挙会開票作業時に、集計の中間発表が実施できないのか伺います。 (4) 期日前投票所数の拡大の可能性について伺います。
8	12	長 澤 勝 幸	1 地域で支える高齢者の移動支援について	(1) 運転免許証自主返納者への対応について ア 市の支援事業の活用状況について伺う。 また、支援策を活用する市民からどのような声があるのか。 イ 要綱に基づく取組み後の効果と実施されている内容についての分析はどうか。今後、支援事業の見直しについてどのように考えているのか。 ウ 商店街などと連携した自主返納者に対する新たな支援策を考えているのか。また、「買い物弱者」への対応としての移動販売車の取組みについて協議をするとしていたがどうなっているのか。 (2) いわき市で実施されている「ボランティア輸送」について ア 国も「社会全体で高齢者の生活を支える体制の整備」の対策を早急に講じるとし、移動手段の選択肢を増やす視点から「中間とりまとめ」報告も公表されている。市の現状と今後の取組みの可能性について考えはあるのか。 イ いわき市の行政と地域住民の協働の取組みとなった「ボランティア輸送」についてどのように受け止めているのか。 ウ 今後、実施が見込めるとするのであれば、現時点での課題は何か。
			2 身近な行政課題解決について	(1) 喜多方市民プールの現状と今後の対応について ア 昨年、高温が続いた気象状況下におけるプールの状態は、どうであったのか。 イ 施設が老朽化している現状についてどう認識しているのか。 ウ 公共施設等総合管理計画に基づく個別計画で、今後、どのように進められていくのか。 (2) 押切川公園体育館東側の人工水路の管理について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				ア 機能していない状態だが、現状はどうか。 イ 今後の対応策はどうか。 (3) 長期連休中の燃えるゴミ収集の対応について ア 10連休という特別な状況の中で、ゴミ収集をどのように対応したのか。また、市民からの苦情等は寄せられたのか。 イ 今後も準ずる同様の状況が想定されるが、対応・対策はどう講じるのか。 (4) 緑の基本計画に基づく都市公園整備の進捗状況について ア 都市公園整備について、進捗状況と新たな計画はあるのか。 イ 都市公園整備で遊具更新が進められ、憩いの場になっている。駐車場がなく路上駐車になっている現状と対策はどうか。 (5) 原発の現状認識と環境放射線測定結果の扱いについて ア 市は、測定システムを「住民の不安が払拭されるまで、国の責任において継続設置するよう強く要請する」とし、粘り強く国に求めるとしてきたが、その後、国の考え方は示されているのか。 イ 原発事故後の復旧・原発廃炉工事の進捗状況や地震発生による津波の影響などが想定されるが、現状をどのように認識しているのか。 ウ 放射線測定データを記載した「市からの最新情報」については、各戸配布でなく回覧扱いとされた。しかし、原発の現状やリアルタイム線量測定システムの継続設置と合わせ、各戸配布での継続した情報提供が重要と考えるがどうか。
9	3	山 口 文 章	1 慶徳稲荷神社の御田植祭について	平成31年3月28日に慶徳稲荷神社の御田植祭が「会津の御田植祭」として会津美里町、伊佐須美神社の御田植祭と共に国重要無形民俗文化財に指定されました。県内で9件、本市では初の指定となりました。 今回の国指定に対し、市の今後の取り組みについて2点伺います。 (1) 後継者育成について ア 昨年行われた保存会と教育長との対談で、慶徳小学校の児童数減少問題に対する

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				市の対応について伺います。 イ 御田植祭神事の際、笛や踊りの育成に関する市の対応について伺います。 (2) 市としての今後の活動について ア 現在、市では2か年をかけて祭の詳細な記録を撮影し、映像記録としての作成を進めるとのことですが、作成計画について伺います。 イ 「会津の御田植祭」を会津美里町と連携し、今後どのようにしてPRを進めて行くか伺います。 ウ 慶徳町の国重要文化財「長床」との連携、PRの進め方について伺います。 エ 御田植祭会場の整備など、市として今後計画している事業及び計画があるか伺います。
10	9	菊 地 とも子	1 観光振興について	(1) 2018 年度観光客の入込数及び宿泊客数について (2) 2019 年度日中線しだれ桜並木について ア 日中線しだれ桜並木における観光客入込数について イ 日中線しだれ桜並木における経済効果について (3) 協力金について (4) 観光PRについて
			2 健康増進について	(1) 「第三次健康きたかた 21」について
			3 高齢者支援について	(1) 運転免許証自主返納者支援について
			4 ロビーコンサートについて	(1) 市役所ロビーコンサートの実施について
11	2	小 澤 誠	1 国保税の引下げについて	(1) 国保は「社会保障」(国保法第1条)とすることの意味を問う。 (2) 「国保税が高い」という認識があるが、その原因は何だと考えているか。 (3) 高い国保税を引き下げるために、どんなことが必要だと考えますか。 (4) 全国知事会が国に要望している「1兆円の財政投入」をどう評価するか。
12	21	山 口 和 男	1 市議会議員の一般選挙について	(1) 開票作業の遅れの原因を問う。 (2) 作業の効率化を図り、投票時間の短縮を求めるが、見解を問う。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 景気判断の基本認識について	(1) 5月20日、内閣府発表のGDP年2.1%増をどう捉えているか伺う。 (2) 5月24日、政府の月例報告で景気判断を再び引き下げた。これをどう捉えているか伺う。 (3) 判断が政策の決定に与える影響をどう考え、予算編成をしているのか伺う。 (4) このような状況下で消費税を10%に引き上げることにより、市民生活はどうなるのか、消費税引上げの是非と併せて伺う。
13	1	矢 吹 哲 哉	1 小・中学校の教育環境の充実について	(1) 米軍機オスプレイの山都中学校上空を低空飛行したことについて ア 教育委員会の見解について イ 教育委員会の対応について (2) 図書費の減額について ア 図書費の減額とその理由について イ 児童・生徒への影響について (3) 用務員の勤務内容等の変更について ア 変更したのは何か、また、変更した理由について イ 学校現場での影響について
			2 小・中学校の適正規模・適正配置計画について	(1) 基本方針について ア 基本方針（案）の内容について イ 決定までのスケジュールについて ウ 小規模校について (2) 実施計画について ア 実施計画決定までのスケジュールについて イ 市民、地域への説明と合意形成について ウ 「決定した地域から実施に向け準備を進め、2022年度から実施を目指す」ことについて
			3 県立高校の統廃合、特色化計画について	(1) 喜多方高校と喜多方東高校の統合について ア 現在の取組状況について イ 市長の見解について ウ 市としての対策・対応について (2) 「特色化」について ア 特色化とは何か、また、その内容について イ 学校を6つにコース分けする理由について ウ 中学校の生徒への影響について エ 高等学校の学区の現状と影響について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
14	10	小 林 時 夫	1 防災・減災・復興について	(1) 国土強靱化地域計画の策定について ア 計画の現状について イ 今後の策定について (2) 防災無線の整備について ア 公共施設の防災無線の現状について イ 今後の防災無線の整備について (3) 避難所のトイレの洋式化について ア 避難所のトイレの現状について イ 今後のトイレの洋式化について (4) 風評被害対策について ア 教育旅行の現状について イ 教育旅行の推進について
15	16	五十嵐吉也	1 固定資産税の税率について	(1) 国が定める固定資産税の課税標準税率を採用しない理由を伺います。 (2) 県内で課税標準税率を取らない自治体はいくつあるか伺います。 (3) 固定資産税を国が定める標準税率に見直す条例を提案する考えはあるか伺います。
16	18	伊 藤 弘 明	1 市民の所得向上について	(1) 県内 13 市の中で最低と言われる市民の皆さんの所得を増やす方策について
			2 障がい者の支援について	(1) 障がい者と言われる皆さんは、大別して身体障害、知的障害、精神障害の中のいずれかに属するわけですが、それぞれの団体が独自の支援策の中で支援を受け、独自の活動を余儀なくされているように思われる。もっと手厚い支援の中で障がい者が豊かな生活ができるような方向性を考えていく必要があるのではないのか。
			3 坂井四ツ谷線の今後の展開について	(1) 都市計画決定されて 18 年が経過する喜多方東高校から国道 121 号バイパスまでの部分についての今後の展開について
17	11	坂 内 鉄 次	1 児童・生徒等の安全対策について	(1) 登下校時等の安全対策について (2) 学校など施設内における安全対策について (3) エアコン設置事業の進捗状況について
			2 市民の政治参加について	(1) 今市議選の投票状況をどう分析し、課題を把握されたか。 (2) 若い世代に関心を寄せて頂く方策は。 (3) 若い方々が立候補しやすい環境づくりは。
			3 市職員の人事管理について	(1) 職員の働き方改革について (2) 人事異動について (3) 職員の不祥事事件について (4) 会計年度任用職員制度の導入について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
18	8	蛭川靖弘	1 本市の少子化の現状について	(1) 本市総合計画では人口減少問題を最重要課題と設定し、平成 27 年に作成した長期人口ビジョンでは、平成 26 年の合計特殊出生率 1.57 を「基準モデル」とし、希望出生率 2.07 に設定した展望人口を目標として様々な施策を実施してきている。総合戦略の中で KPI の目標を設定した「市人口の転出抑制数」は、中間監査では、ほぼ横ばいであり、合計特殊出生率は平成 26 年から 28 年まで 1.57、1.41、1.64 と推移しているが、昨年度の本市の出生数は 290 人と国政調査が始まって以来、最低の数値となっている。 本年度が総合戦略の最終年度であることから、総合戦略で目標として設定した合計特殊出生率 1.75 の到達に対する見通しと、その根拠等について問う。 また、国の地域おこし協力隊制度は、UIJ ターン促進にたいへん有益な事業であり、隊員期間が終了後も市内に定住している人もいる。現在 4 名の隊員のうち 3 名の隊員が今年度で任期切れとなるが、今後の計画について問う。
			2 文化芸術創造都市について	本市総合計画第 2 期 3 カ年実施計画の中、大綱 2 の 3 歴史・文化の中に「喜多方市文化芸術創造都市推進事業」があり、平成 29 年度から「市民プロジェクト」として募集を行い、平成 30 年度の実績として、総額 50 万円の報償費を支出している。 文化庁のサイトから調べると、福島県内では、喜多方市を含めたいわき市、白河市、伊達市の 4 市が創造都市ネットワーク日本に加入している。この件について以下の内容を問う。 (1) 文化芸術創造都市推進事業に取り組むことで本市が目指す市の姿 (2) 本市が、文化芸術創造都市推進事業として取り組むまでの経緯 (3) 文化芸術創造都市推進事業を行った内容と成果 (4) 文化芸術創造都市推進事業についてこれから計画している事業の内容